**新型コロナウイルス感染対策・ご協力のお願い**

第39回日本脳腫瘍学会学術集会は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、12月5日（日）～７日（火）に現地開催およびライブ配信をいたします。

現地での開催については、有馬グランドホテルの感染対策を厳守して実施いたします。

現地でのご参加を予定されている参加者・演者・座長および協賛企業の皆様等におかれましては、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

【健康管理について】

来場前はご自身で検温いただき発熱や体調に異常がないか確認してください。もし異常があると思われる場合や以下に該当する場合は、ご来場をおひかえください。

・37.5度以上に発熱、あるいは平熱より1度以上の発熱がある場合

・咳や倦怠感、他の呼吸器症状、聴覚異常や味覚障害の症状がある場合

・新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者であることが判明した場合

・過去 14 日以内に感染が継続拡大している国・地域への訪問歴がある場合

【健康状態の申告について】

「健康状態申告書」は事前に抗原検査キットと一緒に郵送させていただきます。当日会場へお越しの際は、「健康状態申告書」を予めご記入いただき、来場日毎に会場入口にてご提出をお願いします。現地会場にも用紙は設置しておりますが、混雑を避けるため出来る限り事前にご記入いただいてご持参ください。

健康状態申告書を日毎に切り離してご提出ください。

【会場内での感染対策ご協力のお願い】

講演会場等となる会場「森羅」は先進的な換気システムを持つ会議室となっておりますが、下記のご協力をよろしくお願いいたします。

・会場内ではマスクを必ず着用してください。

・施設入口での検温実施にご協力ください。

・施設入口や各会場入り口など、消毒液を適宜設置いたしますのでご利用ください。

・三密回避をお願いします。

・ランチョンセミナーなど飲食があるセッションでは、食事の時のみマスクをはずしできる限り黙食にご協力ください。

・ご発表や座長の役割で、会場のマイク、マウス、レーザーポインター等を使用される場合は、使用前後に手指の消毒をしてください。

事後に感染が明らかになった場合や濃厚接触者となった場合は、主催者へ連絡するとともに、保健所等の感染追跡調査等の実施に協力をお願いします。

第39回日本脳腫瘍学会学術集会

会長　村垣　善浩

【新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)インストールを推奨いたします】

APP StoreまたはGoogle Playで「接触確認アプリ」と検索してインストールしてください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html>